



「学校防災マニュアル見直しの手引」及び「学校防災マニュアル作成ガイド（改訂版）」を発行しました

このたび、県教育委員会では、不測の事態においても子供たちの命を守る実効性のある学校防災マニュアル作成に向けた参考資料「学校防災マニュアル見直しの手引（以下、「手引」という。）」を作成し、令和4年3月11日付け保体号外で、県立学校及び市町村教育委員会へ通知しました。

この手引は、**ステップ1【事前防災編】** **ステップ2【避難訓練編】** の2部構成となっており、学校を取り巻く様々な状況変化や最新の防災情報、学校で実施した避難訓練の検証結果などを踏まえた上で、マニュアルの見直しを行う際のポイントや考え方について、参考となる実践事例や資料などを交えながら取りまとめたものです。

各学校においては、「学校防災マニュアル作成ガイド【令和4年3月改訂版】（以下、「作成ガイド」という。）」と併せて活用し、子供たちの安全確保を最優先に考えた災害への備えに、万全を期していただくをお願いします。

なお、「手引」や「作成ガイド」、「実践事例」、「参考様式」等は、下記ホームページからダウンロードが可能です。



みやぎ学校防災ポータルサイト『みやぼう』

<https://www.pref.miyagi.jp//site/gakkou-anzen-bousai/miyabou.html>

学校防災マニュアル見直しの手引



『子供たちの命を守る実効性のあるマニュアル』を目指して



みやぎ学校防災ポータルサイト『みやぼう』（宮城県教育委員会ホームページ内）

<https://www.pref.miyagi.jp//site/gakkou-anzen-bousai/miyabou.html>

本手引や学校防災マニュアルの見直しに当たっての実践事例、マニュアル整備に係る様式などが集約されています。また、実践事例は随時更新されます。全てダウンロードが可能です。



令和4年3月
宮城県教育委員会

本手引の使い方

この手引は、「参考資料」、「実践事例」、「参考様式」及び別冊の「学校防災マニュアル作成ガイド（令和4年3月改訂版）」と関連させています。それぞれの資料を参考に、実効性のあるマニュアルの見直しに取り組んでください。

手引は、**ステップ1**、**ステップ2**と、**ステップ**では、「実効性のある学校防災マニュアルに向けた見直しチェックリスト」のチェック項目ごとに見直しの取組の参考となるよう、**見直しのポイント**、**見直しの方法等**、**見直しに当たっての関連資料**を記載しています。

ステップにおいては、避難訓練等による課題を把握するためのポイントや、各学校での取組の参考となる避難訓練や教職員研修等の取組事例を掲載しています。

※**ステップ**

ステップ	チェック項目	PO
1	①	PO
	②	PO
2	①	PO
	②	PO

例 チェック項目ごとのページ

（1）○○○○○○○○○○
○○○○○○○○○○

見直しのポイント

□ ○○○○○○○○○

見直しの方法等

○ ○○○○○○○○○

【作成ガイド改訂版】PO

実践事例 ○ ○○○○○○○○○

参考資料 ○ ○○○○○○○○○

参考様式 ○ ○○○○○○○○○

必要な資料

コラム

【学校防災マニュアル見直しに当たっての関連資料について】
以下の関連資料等は、全てQRコードから確認できるようになっています。

- ◎学校防災マニュアル作成ガイド（令和4年3月改訂版 宮城県教育委員会）⇒【作成ガイド改訂版】
- ◎学校防災マニュアル見直しに当たっての実践事例 ⇒ **実践事例**
（実践事例はチェック項目ごとに紹介しており、具体的な実践方法を紹介している事例もあります）
- ◎学校防災マニュアル見直し及び、避難訓練に当たっての参考資料 ⇒ **参考資料**
（マニュアルの見直しに参考となる関係資料等を取りまとめたもの）※手引巻末に掲載
- ◎学校防災マニュアルの見直しに関連する参考様式 ⇒ **参考様式**
（学校防災マニュアルの見直しに関連する各種参考様式をまとめたもの）

なぜ必要なのか：チェック項目に係る東日本大震災の教訓
コラム：チェック項目に係る見直しに必要な参考情報

なお、新たな実践事例や参考資料、様式は、県内の「地域連携型学校防災体制等構築推進事業」における実践研究協力校等の先進事例を踏まえ、みやぎ学校防災ポータルサイト『みやぼう』において、随時掲載していく予定です。併せて活用いただきたい。

「学校防災マニュアル見直しの手引」の活用にあたって、作成委員の皆様からコメントをいただきましたので、紹介します。(順不同)

○石巻市立湊小学校 教諭 相澤 洋之

学校の立地条件により、様々な防災への備えが必要となります。ぜひ『手引』を参考にさせていただき、オリジナルの防災マニュアルを完成させていただければと思います。

○石巻市立青葉中学校 安全担当主幹教諭 飯野泰志

近年、地震だけでなく様々な災害が発生し、大きな被害が報じられています。いつ起きるか分からない災害に備えて、多くの学校で『手引』を活用していただけたらと思います。

○石巻市立石巻中学校 主幹教諭 勝又 貴光

作成委員会への参加は、研修会への参加と同じくらい勉強になりました。この『手引』が多くの教員に活用され、学校防災の意識の向上につながってほしいと思っています。

○気仙沼向洋高等学校 教諭 岸 貴司

いつもの防災マニュアル・避難訓練から、学校・地域の特性に応じて自校化された実効性のある防災マニュアル・避難訓練へと改善される柱となります。ぜひ活用ください。

○東北大学災害科学国際研究所 准教授 佐藤 翔輔 氏

計画・訓練のとおり災害は起こりにくいものです。『手引』を通して、同僚・子供たちの対話の中で、いざという時の災害対応の臨機応変力を身に付けてください。

○東北大学災害科学国際研究所 教授 佐藤 健 氏

この『手引』が地域連携型の学校防災体制の構築に向けて活用され、自然災害に対して安全、かつ早期再開を可能とする包括的学校安全の推進に役立てられることを期待します。

○東北大学災害科学国際研究所 准教授 柴山 明寛 氏

自然災害は、激甚化しつつあり、従前の対応では不十分なところがあります。マニュアルの作成は、学校関係者及び地域の方々と話し合いながら防災対策を進めてください。

○気仙沼市立大谷小学校 安全担当主幹教諭 菅原 基

震災時に津波の被害を受けた地域で勤務しております。地震・津波発生時を想定した「地域や関係機関等と連携した避難訓練」の実践事例を提供しましたので御覧ください。

○県教育庁特別支援教育課 副参事(班長) 杉浦 誠一郎

障害がある児童生徒に対しては、避難行動のみならず、避難後の健康管理や安心して過ごすための支援が必要です。『手引』を参考に個々の避難から引き渡し、その後のケアまで想定した点検をお願いします。

○岩沼市立玉浦中学校 教諭 高橋 健一

今、学校防災に求められている視点や様々な実践例が掲載されています。参考にしてください。私もこの『手引』を活用して、防災マニュアルを見直していきたいと思っています。

○大崎市立古川第五小学校 教頭 千葉 貴浩

子供たちの大切な命を守るため、全教職員が共通理解し、対処できる実効性のあるマニュアル作成に向け、本『手引』を活用していただきたいです。

○県涌谷高等学校 教諭 津守 大智

地域の災害特性に応じて防災マニュアルをアップデートしていく上で、是非、見直しのためのチェックリストや事例等を活用していただければと思います。

○丸森町立舘矢間小学校 主幹教諭 野田 豊

児童生徒一人一人のかけがえのない命を守るために、各学校の防災マニュアルを全教職員で見直し、実効性のあるものへと本『手引』を活用していただけたら幸いです。

○宮城教育大学教育学部 講師 林田 由那 氏

様々な実践事例も紹介されておりますので、それらを参考にさせていただき、自校の立地・実情等に合わせたマニュアル見直しの方法を御検討いただければと思います。

○柴田農林高等学校川崎校 教諭 山口 裕之

アクションカードを使った訓練の際に、災害発生時の役割の動画を3本作成して教職員で共有しました。1つの動画で1分程度です。これはけっこう有効な方法だと感じました。